

研究課題名:精神科病院における災害の備え尺度の開発 精神科病院における被災からの回復プロセスに関する研究—看護管理者の東日本大震災の 経験をととして—

看護学科 清水健史

研究の目的

- 1) 災害によって精神科病院が、機能の一部あるいは全部を喪失し、そこから機能回復しようとするプロセスを明らかにする。
- 2) 災害の備え尺度作成時の尺度項目作成の基礎的資料とする。

調査内容

- 1) 質的帰納的研究デザイン
- 2) 研究期間: 平成30年12月から平成31年1月
- 3) 研究対象: 被災経験のある精神科病院看護管理者
- 4) 質問内容: 被災内容や被災後の対応、対応の判断、部下への指示と上司への報告、活動中の心境について。
- 5) 分析方法: 複線径路・等至性モデル (Trajectory Equifinality Model: 以下、TEM) (サトウ2009) を用いる

結 果

- 1) リスクマネジメントの必要性
- 2) 継続した看護機能の確保
- 3) 精神症状の悪化への予測と対処

今後の展望

- 1) 被災時における精神科看護管理者の役割モデルを明らかにすること
- 2) 災害の備え尺度のアイテムプールとして活用すること